



# 県南家畜衛生情報

## 今号の主な内容

- 平成17年度管内における監視伝染病発生状況について
- ポジティブリスト制度が導入されました
- 平成18年度 岩手県南家畜保健衛生所 組織体制

発行 岩手県南家畜保健衛生所・岩手県南家畜衛生推進協議会

2006

第27号

平成18年6月30日

## 平成17年度管内における監視伝染病発生状況について

### 1 家畜伝染病

病名	畜種	市町村数	戸数	頭数	備考
ヨーネ病	ホルスタイン種	2	2	2	
	黒毛和種	3	3	7	

### 2 届出伝染病

病名	畜種	市町村数	戸数	頭数	備考
牛白血病	ホルスタイン種	5	21	21	
	黒毛和種	7	18	18	
	交雑種	1	1	1	
牛ウイルス性下痢・粘膜病	黒毛和種	2	2	5	粘膜病
豚繁殖・呼吸障害症候群	豚	2	2	4	

#### 【家畜伝染病】

ヨーネ病は5市5戸9頭の発生がありました。平成16年度以降、黒毛和種で本病が散発しています。

#### 【届出伝染病】

牛白血病は延べ13市町40戸40頭の発生がありました。3～4歳齢の若齢牛で発生も見受けられるなど、本病の発生は増加傾向にあります。

牛ウイルス性下痢・粘膜病は、2市2戸5頭の発生がありました。主な臨床症状は、四肢趾間の糜爛、流涎、発熱、軟便～下痢でした。

豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）では2町2戸4頭の発生がありました。主な臨床症状は流産でした。

### 疾患トピックス

牛ウイルス性下痢・粘膜病で最も問題点となるのは、**持続感染（PI）牛**が発生することです。胎子が胎齢1～4ヶ月のときに母牛が牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）に感染すると、胎子はBVDVに対する抗体を持たず、生涯BVDVを分泌・排泄し続けるPI牛として生まれ、同居牛への感染源となります。PI牛は、通常外見だけで見分けることが困難ですが、多くは発育遅延あるいは肺炎や下痢を繰り返します。本病は、種付けの1ヵ月前までにワクチンを接種し、母牛に抗体を持たせることで予防できます。



## ～ ポジティブリスト制度が導入されました ～

食品衛生法の改正に基づき、平成18年5月29日から「ポジティブリスト制度」が導入され、食品中に、農薬、飼料添加物及び動物用医薬品（農薬等）が基準値を超えて残留すると、販売できなくなります。畜産関係では、動物用医薬品の使用にあたっての注意事項、特に休薬期間や使用禁止期間が大きく変わります。

動物用医薬品を使用する獣医師は、次の点に注意して下さい。

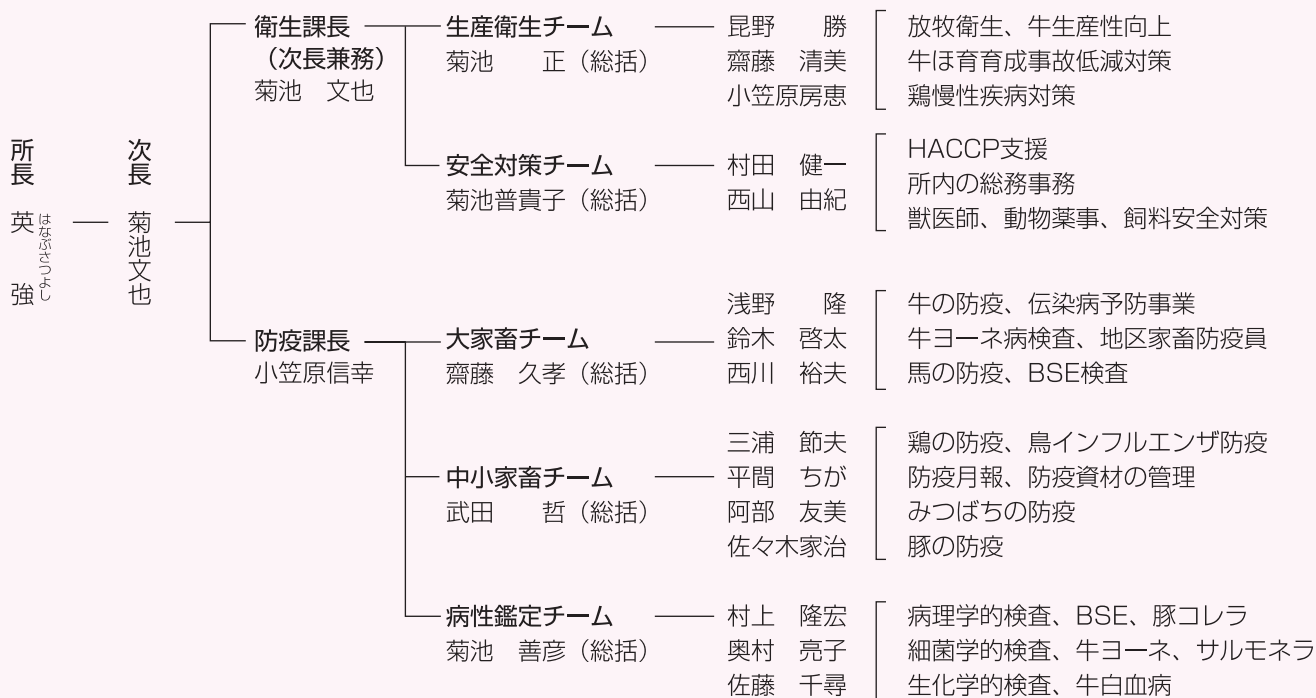
- 1 動物用医薬品の添付文書をよく読んで、適正に使用する。
- 2 最新の用法・用量、休薬期間、使用禁止期間を確認し遵守する。
- 3 動物用医薬品指示書や出荷制限期間指示書の控えを保管する。
- 4 治療動物の記録を保管する。
- 5 特例により、承認された用法以外の使用をする場合は、獣医師の責任で十分な出荷制限期間を指示する。

特に、保管した書類・記録は、問題が発生したときの重要な資料となります。



最新の情報は、農林水産省動物医薬品検査所ホームページ (<http://www.nval.go.jp>) や厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp>) を参照してください。

## 平成18年度 岩手県県南家畜保健衛生所 組織体制



編集・発行

岩手県県南家畜保健衛生所  
岩手県南家畜衛生推進協議会

岩手県奥州市水沢区佐倉河字東館41-1  
TEL 0197-23-3531 FAX 0197-23-3593  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp2514/>  
TEL 0197-24-5532 FAX 0197-23-6988